

(資料2)

地域おこし協力隊等ネットワーク（仮称）の 活動内容、機能等について（案）

令和3年11月25日

地域おこし協力隊等ネットワーク化検討コアメンバー

1 ネットワーク化の目的

【協力隊等OB・OGと現役隊員との**繋がり創出**と
OB・OGによる現役隊員への**活動支援体制**の構築】

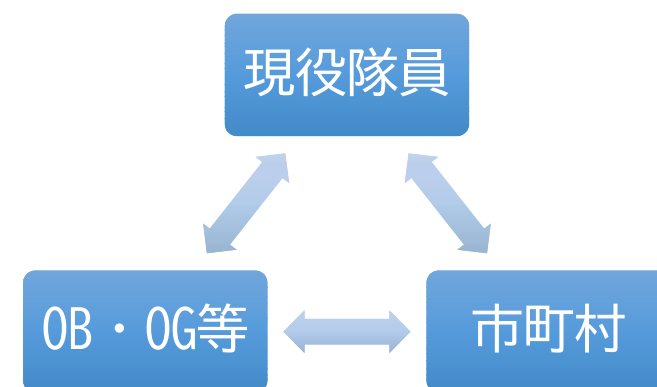
- 1 協力隊等OB・OGと現役隊員等、現役隊員等相互の**交流促進**
- 2 協力隊等OB・OGによる現役隊員等の**活動支援**
- 3 協力隊等OB・OG・現役隊員・地域づくり団体等の連携・協働による**相乗効果発現のアレンジ**



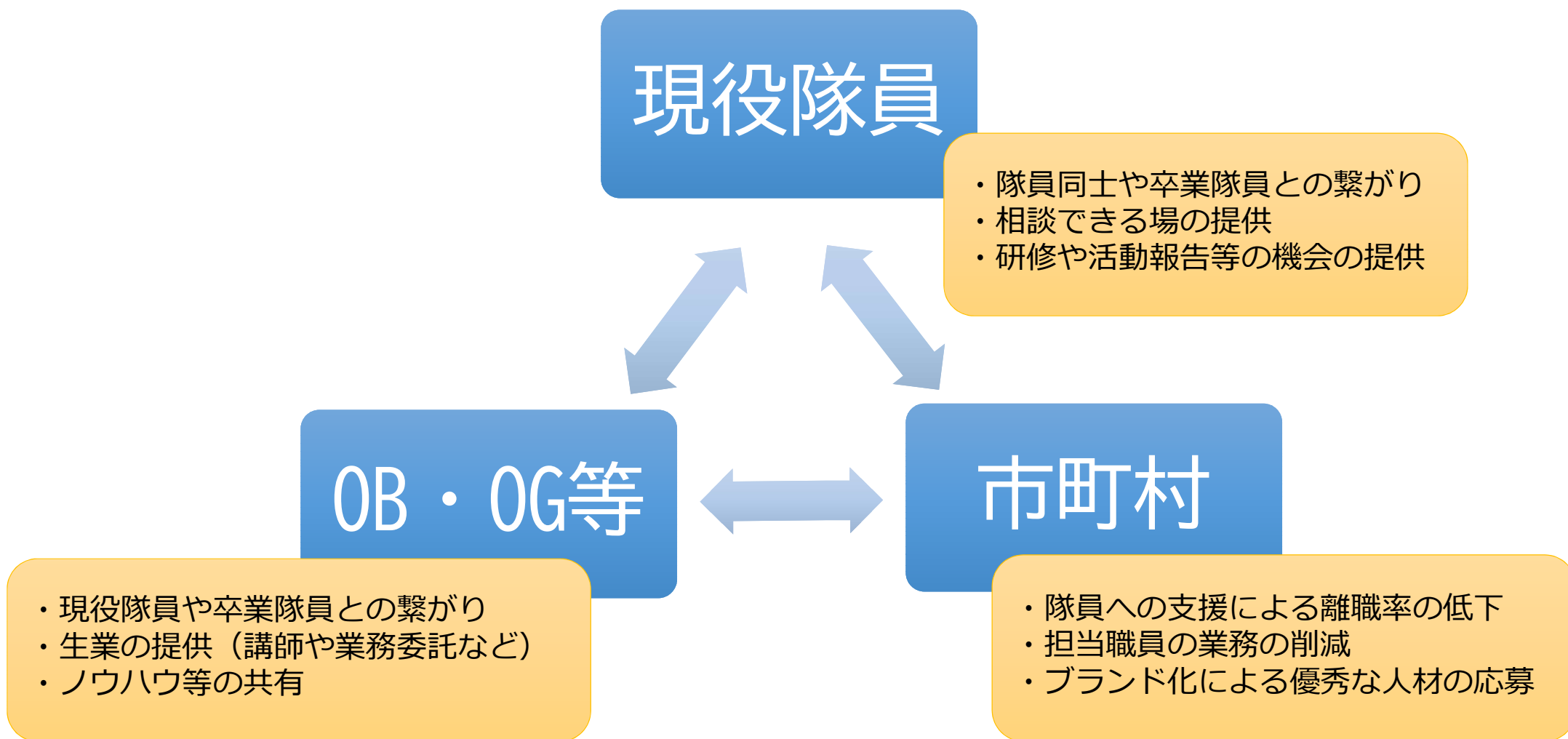
協力隊等の個々の活動の充実、任期終了後の定着促進

2 ネットワークの機能

- ① 現役隊員とOB・OGの広域的な**つながりを創出**
- ② 現役隊員同士及びOB・OG等に**相談できる場づくり**
- ③ 現役隊員とOB・OG等との連携を通じた**知見等の継承**
- ④ 市町村及び受入団体への**支援**



3 ネットワーク化によるメリット



4 ネットワークの活動内容

- (1) 地域おこし協力隊等(OB・OG含む)の活動の見える化
- (2) 交流及び情報交換の場の提供、相談の場の提供
- (3) 研修会、交流会の実施
- (4) 市町村の支援（協力隊員等受入支援、職員向け研修等）

※本資料に掲載の活動内容は、その全てをネットワーク立ち上げ直後に実施しようとするものではありません。体制整備状況や予算などとの兼ね合いを見ながら、順次行う予定の活動を記載しているものです。

(1) 地域おこし協力隊等(OB・OG含む)の活動の見える化

【目的】

- ネットワークメンバーの活動の見える化を実施することにより、メンバー同士の横と縦の繋がり及び地域社会との関わりを構築することにより、メンバーとの連携や協働に繋がる環境を醸成すること。
- メンバーのつながりを構築することにより、メンバーの孤立化を防ぎ、メンバー同士の相談・交流ができる環境を整備すること。
- 活動報告会を通じて、隊員の活動の見える化を促し、地域社会等に隊員の活動を周知し理解していただくこと。

#つながり創出

#相談の場づくり

#知見等の継承

#市町村への支援

(1) 地域おこし協力隊等(OB・OG含む)の活動の見える化

①データベースの作成

⇒参加する現役隊員やOB・OG等を募集し、活動内容、連絡先、得意分野、HPやSNS等の全県的なデータベースを構築する。

公開しても良い内容は、各情報発信や詳細をダウンロードサービス等で提供し、仕事での連携や業務の受発注にも活用する。

②ホームページの運用について

ホームページを作成し、以下の運用を行う。

- i) 登録メンバーのみが閲覧可のページを作成し、交流。
- ii) お知らせ・活動紹介等の掲載（登録メンバーが自由に投稿可能）。
- iii) 隊員紹介等の掲載する（運営が投稿）。
- iv) 事務局及び岩手県主催の研修などの情報を掲載（運営が投稿）。

(1) 地域おこし協力隊等(OB・OG含む)の活動の見える化

ホームページの作成 (案)

今現在、検討しているホームページの参考例

i) しまね協力隊ネットワーク

<https://shimaneknw.localinfo.jp/>

ii) 佐賀県地域おこし協力隊ネットワーク

<https://saga-kyoryokutai.net/>



③活動報告会の実施

- 隊員の活動を地域社会等に周知・理解していただくために、リアルorオンラインにて開催する。
 - ※市町村にて開催する場合には、市町村担当者等と相談した上で連携させていただく。
 - ※市町村で開催しない場合には、ネットワークでオンライン開催する。

(2) 交流及び情報交換の場の提供、相談の場の提供

【目的】

- ネットワークのメンバー同士が気軽に交流したり、情報交換の場を提供すること。
- メンバーのセーフティネットワークを確保し、共助できる環境を構築すること。

#つながり創出

#相談の場づくり

#知見等の継承

#市町村への支援

(2) 交流及び情報交換の場の提供、相談の場の提供

①交流及び情報交換の場について

- i) ホームページ上にメンバーのみ閲覧可のページを作成し、その中でいくつかのテーマを設定し、交流及び情報交換をしてもらう。イメージとしては、Slackのようなものを想定。(再掲)
- ii) 交流及び情報交換の場に関しては、メンバーの方は自由に投稿・返信してもらえるようにしていく予定。
- iii) メンバーが投稿しやすい環境を作り上げるために、定期的な情報の提供や話題作りのきっかけとなるような仕掛けをしていく。

(2) 交流及び情報交換の場の提供、相談の場の提供

②相談の場の提供

- i) より気軽に問い合わせをいただけるように、研修会などの後に、OB・OGが現役隊員からの問い合わせを受ける機会を提供する。
- ii) 対応可能な問い合わせの内容としては、活動における連携先情報の提供依頼等を想定。なお、専門家が常駐することは想定しておらず、悩みの相談等については、対応できる範囲は限定的。
- iii) 地域おこし協力隊等OB・OGが経営しているお店などを協力隊OB・OGのいるお店として紹介し、現役の協力隊員等が立ち寄れるような情報を提供する。

(3) 研修会、交流会の実施

【目的】

- 研修会などを通じて、メンバーの知見の習得やスキルアップを図り、今後の隊員活動をより充実させること。
- 任期後のメンバーの生業に繋げ、その活動地域で自立した形で定住できる環境を構築すること。
- 研修会及び交流会などを通じて、メンバー同士でお互いの活動内容を理解した上で、メンバー同士の活動の連携や協働を促し、地域活性化の機運を醸成すること。

#つながり創出

#相談の場づくり

#知見等の継承

#市町村への支援

(3) 研修会、交流会の実施

① 研修会の実施について

- 初任者研修、ビジネス研修、スキルアップ研修、定住及び起業に関するセミナーの実施。
(岩手県や市町村からの委託事業も含む)
- ・ 初任者研修を年に2回程度(初夏と初冬)、実施する。
- ・ メンバーの要望に応じて、特定の分野のスキルアップ研修を小規模で開催する。
- ・ 他機関(例えば、県・市町村の移住・定住担当)とも連動したセミナー等も検討していく。

② 交流会の実施について

- 年に数回、メンバー同士の交流の機会を提供していく。
 - ※リアル及びオンラインでの交流会を企画。
 - ※参加メンバーが交流の場や勉強会を企画開催する場合には、内容を検討した上で、ネットワークの法人も後方サポートできるようにしていく。

(4) 市町村の支援（協力隊員等受入支援、職員向け研修等）

【目的】

- 市町村や受入団体等と連携及び情報共有、支援などを行うことにより、協力隊等の活動環境の整備等を行うこと。
また、隊員の任期後において活動地域での定着を促進すること。
- ネットワークと連動した協力隊員等受入を行うことにより、岩手県の地域おこし協力隊のブランディングの向上を図り、より優秀な隊員が応募してくれる環境を構築すること。
- 市町村担当者の隊員関連の業務の省力化を図ること。

#つながり創出

#相談の場づくり

#知見等の継承

#市町村への支援

(4) 市町村の支援（協力隊員等受入支援、職員向け研修等）

①前提として

年に数回、各市町村担当者とリアルでの意見交換会の場から、各市町村が協力隊関連において抱えている課題などを把握して、その中からネットワークができる支援を探っていく。

②各地域との中間支援組織との関り方について

- ・ 中間支援組織がある地域では、中間支援組織と緊密に連絡を取り合いながら、連携して活動していく。
- ・ 中間支援組織のない地域では、ネットワークが主体的に対応しながら、その地域での協力隊等と連携して中間支援組織が構築されるような環境を構築していく。

③支援内容について

想定される業務として、協力隊員の募集及び受入業務、市町村担当職員向けの研修、市町村独自の協力隊研修、協力隊員サポート（メンター）業務などを検討している。